

高知県工業技術センターだより

▶導入機器のご紹介

当センターでは、公益財団法人 JKA の 2021 年度公的工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業の補助を受けて、「ICP 発光分光分析装置」と「蛍光 X 線分析装置」を導入しました。

～ICP 発光分光分析装置～

資源環境課

ICP 発光分光分析装置は、液体に含まれる無機元素の量を測定する機器です。JIS や海外規格等の無機分析の公定法に幅広く採用されており、排水や井戸水等の環境分析や、製品や原料中に含まれる不純物の無機分析、食品や医薬品中の有害物の分析が可能であるほか、RoHS 指令に基づくカドミウム、クロム、鉛の分析にも使用します。また、オプションによりフッ酸による分解液や、有機溶媒試料、水素化物による低濃度のヒ素、セレン等の測定にも対応することができます。無機成分に関する品質管理や規格管理に是非ご利用ください。

詳細は、工業技術センター資源環境課（088-846-1651）まで、お問い合わせください。



ICP 発光分光分析装置

(Agilent 5800 VDV ICP-OES、アジレント・テクノロジー株式会社)



競輪の補助を受けて導入しました。

～蛍光 X 線分析装置～

資源環境課

蛍光 X 線分析装置は、固体試料に含まれる無機元素を測定する機器です。定性分析及び検量線による定量分析のほか、標準品がなくても定量可能なファンダメンタルパラメーター法（FP 法）が可能です。

蛍光 X 線分析は湿式分析における分解前処理が不要なため、比較的簡便かつ短時間で評価可能です。また鉱物、金属、プラスチックなど様々な試料を評価できることも特徴の一つで、金属・メッキ・鉱物・セメント・耐火物の JIS や近年では RoHS 指令に基づく試験など公定法でも多く採用されています。本装置は上面照射型なので、粉末試料に特に有効です。

また、金属データベースを備えており、測定結果から鋼種判定ができます。散乱線 FP 法にも対応しており、汚泥や焼却灰、ポリマーなどの軽元素を多く含む試料の分析がより正確に行えます。

詳細は、工業技術センター資源環境課（088-846-1651）まで、お問い合わせください。



蛍光 X 線分析装置

(ZSX PrimusIV、株式会社リガク)



競輪の補助を受けて導入しました。

お気軽にお問い合わせください。

088-846-1111

受付時間 平日 8:30 ~ 17:15



高知県工業技術センター
Kochi Prefectural Industrial Technology Center

